

## 児玉康比古 議員



### (二問一答方式)

- ①子ども医療費の助成
- ②高齢者の健康づくり
- ③想定最大規模降雨と避難勧告等

### 子ども医療費の助成について

**問** 小中学生の医療費無料化については、本市の負担となる医療費の増大と、無料化になることにより安易な気持ちでのコンビニ受診が増えるおそれがあると思うが、県内の各市町でも導入傾向にあることも事実である。

**答** この近隣では内子町が導入し、本市の対応がおくれている印象を

保護者は感じておられ、よく我々議員にも要望される。

子育て環境をさらに充実させるために、医療費の無料化に向けての今後の本市の取り組みについて、お聞きしたい。

**答** 子ども医療費助成制度の拡充については、現在、小学校就学前となっている通院医療費の助成対象を保育所、幼稚園の保育料等の第3子以降無料化の考え方と整合させるようにして、検討を進めているところです。

### 高齢者の健康づくりについて

**問** 大洲市では、高齢保健福祉計画の中で、成人の方を含む、

閉じこもり実人数は、平成24年度は24人、平成25年度は43人であったと報告されている。平成27年度から平成29年度の3年間は、各50名と目標数を定められている。成人の方を含む閉じこもりの人数は、増加傾向にあるのか、ないのか。

また、高齢者の孤立を防止するために、現在、市が行っている具体的な対応策及び体制はどのようになっているのか。

**答** 若年層の方を含む、閉じこもりの実人数については、平

成27年度もほぼ横ばい状況です。なお、保健センターにおいては、

生活習慣病予防の観点から、特定健診、後期高齢者健診などの結果により、健康の保持増進を図るため、保健師による訪問指導を実施しています。

今後も引き続き、在宅介護支援センター、地域包括支援センターなど福祉関係機関と綿密に連携をとり、高齢者の孤立防止を図っていきたくと考えています。

### 想定最大規模降雨と避難勧告等について

**問** 国土交通省は、肱川流域と支流の想定最大規模降雨量が48

時間で811ミリとなり、東大洲地区では水深10メートルから20メートルに達することが新聞で報道された。

私は、48時間の中で、例えば、三、四時間で、400ミリ以上降り、残りの時間で約400ミリが降ったときに水深20メートルに達し、また20ミリ程度の雨が平均に48時間降ったときに、水深10メートルになるのではと考えるが、最大10メートルのパターンと最大20メートルのパターンをお教えいた



「水防法」の一部が改正され、浸水想定区域の指定などが義務づけられた(大洲市街地などでは、20m以上の水深となる区域もあると想定された)

だきたい。

**答** 水深10メートルから20メートル範囲の差については、各地区の標高や地形の状況によるものであると伺っています。なお最大20メートルの浸水は、ふれあいパークの貯留施設の底において想定されているもので、大洲盆地全体が20メートル浸水するものではなく、地形的な条件等を考慮して、それぞれの地域における浸水深が決定されています。